

橋本健一郎氏の8月アルミレポート及び9月の見通し①

予測レンジ

LME 現物後場買い1400-1700ドル

スクラップ 0から5円(前月最終価格より)

為替 119-122円(一か月間)

● 変わらず

● 変わらず

↑ 円高



橋本アルミ(株) 橋本健一郎氏

■概況：前半は、6月の米建設支出は前月比0.1%増、予想は0.6%増

7月のADP全米雇用リポートで、非農業部門の雇用者数(政府部門を除く)は前月からの増加幅が市場予想より小さかった。株式市場では米連邦準備理事会(FRB)による利上げの開始や利上げペースが遅くなるなどの見方が広がるなどのプラス材料もあったが、7月の中国製造PMIは50.0に低下、予想の50.2を下回ったこと、アトランタ連銀のロックハート総裁が9月の利上げを示唆したことなどのマイナス材料を受けてDOW N.

8月15日時点1546ドル(現物後場買い)と月初価格から49ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は、中国の3日連続利下げからの景気後退懸念や7月開催分の米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨を受け、年内の利上げ観測が改めて出たなどのマイ

ナス材料もあったが、米商務省が発表した4~6月期の米実質国内総生産(GDP)改定値は前期比年率3.7%増と速報段階(2.3%増)から大幅に上方修正された。市場予想(3.3%増)を上回り、米景気の回復基調が改めて意識されたこと事ことからUP。9月2日現在LME(現物後場)1594ドルと後半スタート価格から57.5ドルUPしてのスタートとなった。

■前月の経済指標：◆月間のドル/円レート(TTS) 124.84 → 122.65(円)

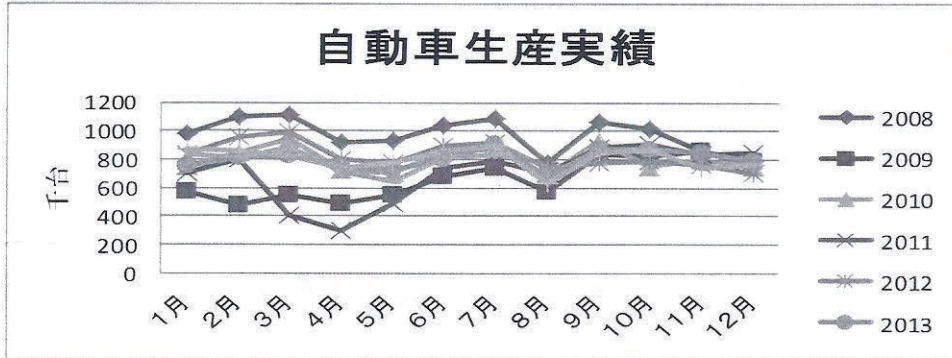
◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比-5.9%の89万4846台であった。

◆自動車販売台数

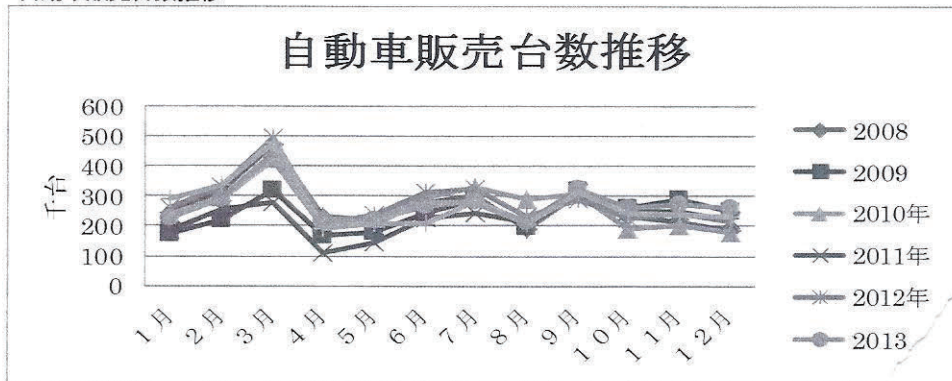
日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前年比+2.3%の21万1303台。

自動車生産台数



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比+7.4%の7万8263戸であった。

◆貿易指標

輸出

財務省貿易統計によれば輸出はアルミ新地金が前年比-62.8%の54t、2次合金が

-3.2%の1469t、前月比でスクラップが-31.5%の1万1005t アルミ缶が+41.9%の4665t。

※15年1月からスクラップがスクラップとアルミ缶に仕分けされたため前年比との比較ができず前月比にしております。

輸入

輸入は新地金が前年比-78.9%の12万7360t、二次合金が-4.3%の8万5057t、スクラップが-31.7%の762t、合金スクラップは-48.9%の2967t。

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-0.8%の18万1413t

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績は前年比-3.6%の7万229であった。

■概況

【自動車生産】

7月の四輪車生産台数は841,812台で、前年同月の894,846台に比べて53,034台・5.9%の減少となり、13ヵ月連続で前年同月を下回った。

7月の車種別生産台数と前年同月比は次のとおり。

乗用車-707,911台で49,612台・6.5%の減少となり、13ヵ月連続のマイナス。このうち普通車は445,444台で9,086台・2.1%の増加、小型四輪車は142,896台で17,855台・11.1%の減少、軽四輪車は119,571台で40,843台・25.5%の減少。

トラック-121,101台で2,157台・1.7%の減少となり、3ヵ月連続のマイナス。このうち普通車は57,460台で1,125台・2.0%の増加、小型四輪車は29,334台で176台・0.6%の増加。軽四輪車は34,307台で3,458台・9.2%の減少。

バス-12,800台で1,265台・9.0%の減少となり、5ヵ月ぶりにマイナス。このうち大型は1,312台で459台・53.8%の増加、小型は11,488台で1,724台・13.0%の減少。

訂正

弊紙9月7日付(第12280号)掲載の第32回伸銅品技術講習会開催の記事の中で、(会長=曾束良子・曾束商店社長)は、(会長=関口泰宏・株式会社関口富美雄商店社長)氏の間違いです。お詫びして訂正いたします。

少。

7月の国内需要は425,093台で、前年同月比7.6%の減少であった。

(うち乗用車355,892台で前年同月比9.1%の減少、トラック68,141台で同0.4%の増加、バス1,060台で同3.3%の増加。)

輸出は前年同月比0.4%の増加。(実績)

【自動車販売】

7月の国内自動車販売台数(軽は除く)は21万1303台で前年比+2.3%。

1ヵ月ぶり再びプラス

内	乗用車	+1.7%
	貨物	+5.5%
	バス	+6.1%

【住宅着工数】

・平成27年7月の住宅着工戸数は78,263戸で、前年同月比で7.4%増となった。また、季節調整済年率換算値では91.4万戸(前月比11.5%減)となった。・利用関係別にみると、実数値では、前年同月比で持家、貸家で増、分譲住宅で減となった。季節調整値については、前月比で持家、貸家、分譲住宅ともに減となった。・住宅着工の動向については、このところ前年同月比で5ヵ月連続の増加となっており、昨年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が薄れ、持ち直しているとみている。

・反動減の影響が大きかった持家は、前年同月比で3ヵ月連続の増加となった。今般の経済対策等の効果が住宅着工に表れていると思われる。引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

(持家)前年同月比では3ヵ月連続の増加(前年同月比8.0%増、季節調整値の前月比では6.0%減)。

(貸家)前年同月比では3ヵ月連続の増加(前年同月比18.7%増、季節調整値の前月比では2.0%減)。

(分譲住宅)前年同月比では4ヵ月ぶりの減少(前年同月比9.0%減、季節調整値の前月比では31.7%減)。

(分譲マンション)前年同月比では4ヵ月ぶりの減少(前年同月比17.6%減)。

(分譲一戸建住宅)前年同月比では15ヵ月連続の減少(前年同月比2.7%減)。

減摩合金・各種ハンダ
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川1-6-22

TEL 06-6561-3759代表